こども環境学会&日本ユニセフ協会共催CFCI\*フォーラム

# 『コロナ禍長期化において 子どもの健全な育成環境と 子どもにやさしいまちづくり』

主催:公益社団法人 こども環境学会/公益財団法人 日本ユニセフ協会

日時:2022年6月30日(木) 13:30~16:30

会場:zoom (ウェビナー) による開催

### 第 | 部 基調講演

五十嵐 隆氏 (こども環境学会会長/国立成育医療研究センター 理事長) 「新型コロナウイルス感染症流行下における子どもの健康」

<u>甲斐田 万智子氏</u>(認定NPO法人国際子ども権利センター代表理事/文京学院大学教授) 「変化する社会において子どもの権利をどう守るのか」

第2部 パネルディスカッション

~ コロナ禍長期化における子どもにやさしいまちづくり~

登壇者: 五十嵐 隆氏

甲斐田 万智子氏

片山 健也 氏 (ニセコ町長) 若生 裕俊 氏 (富谷市長) 仲川 げん 氏 (奈良市長)

司 会:木下 勇 氏

**\***CFCI:子どもにやさしいまちづくり事業







#### 参加方法

ご登録いただいた方に招待リンクをお送りします https://onl.sc/3pYp5VR



お問合せ (公財)日本ユニセフ協会 アドボカシー推進室

TEL: 03-5789-2016 FAX: 03-5789-2036

## 登壇予定者プロフィール(登壇順・敬称略)



#### 五十嵐 隆(いがらしたかし)

こども環境学会会長(2017年~)。東京大学小児科教授、東京大学医学部附属病院 副院長を経て現在は国立成育医療研究センター理事長。日本小児科学会元会長。日 本学術会議元会員。子どもと御家族を身体・心理・社会面からしっかりと把握し、 支援する小児医療・保健を目指して活動している。



#### 甲斐田 万智子(かいだまちこ)

認定NPO法人国際子ども権利センター(シーライツ)代表理事。文京学院大学教授。専門分野は「国際協力」と「子どもの権利」。日本ユニセフ協会勤務をへて、ブータン、インドに滞在。1996年にシーライツに入職。カンボジアで児童労働・人身売買防止事業に従事。編著『世界の子どもの権利をまもる30の方法』(合同出版)、監修『世界の子ども権利かるた』(合同出版)、共編著『小さな民のグローバル学:共生の思想と実践を求めて』(上智大学出版)『対人援助のためのコミュニケーション学:実践を通じた学際的アプローチ』(文京学院大学総合研究所)など。



#### 片山 健也(かたやまけんや)ニセコ町長

1953年北海道生まれ。民間企業勤務を経て、1978年 ニセコ町役場入庁。企画環境課長、会計管理者などを経て、2009年10月ニセコ町長に就任、現在4期目。主な経歴は、国土交通省地域づくりアドバイザー、札幌大学大学院・同大学非常勤講師、北海道水資源保全審議会委員、内閣府「大学等の知と人材を活用した地方の創生に関する研究会」委員など。



### 若生 裕俊(わこうひろとし) 富谷市長

1964年生まれ。家業の農業を継ぎブルーベリーを富谷の特産品とする。31歳で起業し、民間企業5社創業。宮城県青年会議会長、スローフードインターナショナル国際理事等務める。2015年2月富谷町長就任。2016年10月市制施行により、初代富谷市長に就任。専門職を配置した子育て支援の拠点「とみや子育て支援センター」を開設、全小学校敷地内へ放課後児童クラブの設置、待機児童ゼロを達成、子どもたちの意見を聞く子ども会議の開催など、子育て環境の充実、子どもたちのまちづくりへの参画を図る。



#### 仲川 げん(なかがわげん)奈良市長

1976年生まれ。立命館大学卒業後、国際石油開発帝石株式会社及び奈良NPOセンターを経て2009年7月、奈良市長に就任。2015年「奈良市子どもにやさしいまちづくり条例」を施行、「奈良市子ども会議」を条例で位置づけ、子ども達の意見を施策に反映する仕組みを作り、子どもにやさしいまちづくりに取り組む。中核市市長会顧問。現在4期目。



# 木下 勇(きのした いさみ)大妻女子大学教授・千葉大学名誉教授

工学博士 都市・農村計画 東京工業大学建築学科卒。ワークショップ、住民参加・子ども参画のまちづくりを実践・研究。著書に『ワークショップ~住民主体のまちづくりへの方法論』『遊びと街のエコロジー』『三世代遊び場図鑑』(編著)『アイデンティティと持続可能性』(編著)など。日本ユニセフ協会「子どもやさしいまちづくり事業(CFCI)委員会」委員長、こども環境学会副会長など。